河川課

河川課ホームページ http://www.pref.tottori.lg.ip/kasen/

令和3年度 事業費(当初)					(単位:千円)				
♦	河川総務費⋯⋯ 2,	653,	965	•	水防費 · · · · · · · · · · · · · ·		3 9 1		
•	河川改良費⋯⋯⋯ 4,	051,	829	•	直轄河川海岸事業費負担	金 … 269,	670		
•	海岸保全費	512,	1 1 3						
					合計	7, 496,	968		

*詳しい事業概要(国事業含む)はこちらをご覧ください。

→ http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=34461

1 河川改修の推進

千代川、天神川、日野川、斐伊川の一級河川では、戦後最大規模の洪水が発生しても安全に水が流れるよう改修を進めています。また、その他の中小河川についても、近年頻発する水害に備えるため改修を進めています。

特に、都市部の人家が集中した浸水常襲地帯の対策が急がれており、これらの河川においては河道拡幅や狭窄部改修、排水機場整備などの事業を推進しています。 主な河川事業



排水機場整備により都市部の浸水被害を軽減



塩見川(鳥取市福部町) (令和元年5月) 河道拡幅により浸水常襲地の被害を軽減

河川改修の現況

(令和2年3月末現在)

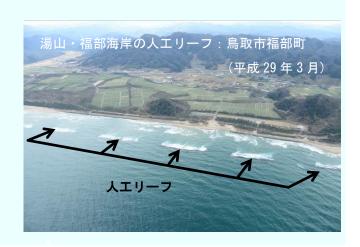
水系	要改修延長 (km)	改修済延長 (km)	整備率 (%)	左のう	ち直轄管理区間	Ŋ	県管理区間		
水系				要改修延長 (km)	改修済延長 (km)	整備率 (%)	要改修延長 (km)	改修済延長 (km)	整備率 (%)
1級水系	819. 7	404. 6	49. 4	128. 5	96. 7	75. 1	691. 2	308. 2	44. 6
千代川	387. 5	209. 5	54. 1	37. 7	27. 7	72. 9	349. 8	182. 0	52. 0
天神川	144. 3	66. 7	46. 2	35. 2	32. 2	91.5	109. 1	34. 5	31.6
日野川	237. 1	93. 5	39. 4	24. 3	15. 4	63.4	212. 8	78. 2	36. 7
斐伊川	50.8	34. 9	68. 7	31. 3	21. 4	68.4	19. 5	13. 5	69. 2
2級水系	313. 7	164. 4	52. 4	l		-	313. 7	164. 4	52. 4
県合計	1133. 4	569. 0	50. 2	128. 5	96. 7	75. 1	1004. 9	472. 6	47. 0

2 海岸の保全

冬季風浪等により海岸侵食を受けている海岸においては、人工リーフの設置等による侵食対策のほか、航路浚渫や河口浚渫等を行う関係者が連携したサンドリサイクルなどを行い、砂浜が回復するよう対策に努めています。

主な海岸事業

- 海岸侵食対策事業
 - ·····湯山海岸、岩美海岸 陸上海岸
 - ・人工リーフの設置等により、 波浪低減を図り海岸侵食を 防止する。



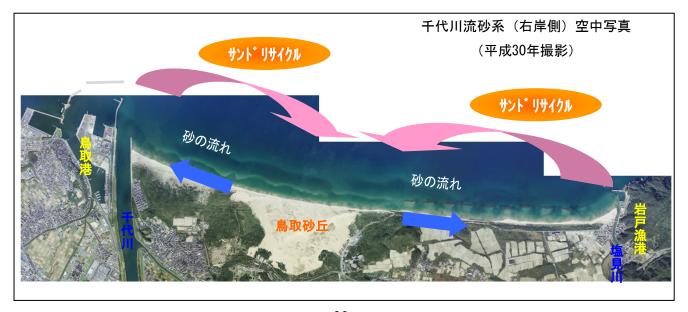
沿岸の土砂移動の連続性を確保し、砂浜を保全するために、平成17年6月に策定した『鳥取沿岸の総合的な土砂管理ガイドライン』に基づいて、海岸、港湾、漁港管理者等が連携し、総合的な土砂管理を行っています。

※「人工リーフ」は、自然の珊瑚礁(リーフ)にまねて海底にブロックや石を積み上げて人工的な浅瀬を作る工法です。人工リーフは海面より下に設置されることにより、景観を損なわず、砂浜を回復させることができます。

※「サンドリサイクル」は、海岸部の人工物によって沿岸の土砂移動が阻害され、侵食・堆積の 変状が大きい砂浜において、堆積した土砂を侵食された区間へ人為的に移動させる対策です。

千代川流砂系(右岸側)での取り組み

鳥取港、千代川、塩見川、岩戸漁港に堆積した土砂を鳥取砂丘沿岸に投入し、砂浜の保全を図ります。



3 河川・河川管理施設の予防保全的維持管理

河川や河川管理施設の機能を維持・保全するため、河床掘削、河川伐開、河川や 施設の維持修繕などの予防保全的な維持管理を実施しています。

- 河床掘削・・・・・河川に堆積した土砂を撤去し、河川断面を確保します。
- 河川伐開・・・・・堤防や河川の草木を伐開し、河川断面確保や堤防点検を容易にします。
- 河川維持修繕・・・護岸や堤防等の河川構造物を修繕し、洪水時の安全を確保します。
- 河川管理施設修繕・・ポンプ場、水門、樋門などを修繕し、確実な運転や操作を確保します。 <河川の安全・環境を守る河川管理施設>







河川管理施設の長寿命化計画

高度成長期に整備した数多くの河川管理施設が、今後更新時期を迎えます。このため、施設の長 寿命化計画策により、計画的な予防保全を実施することで、施設の延命化とライフサイクルコスト (※1) の最小化に取り組みます。

※1 施設の設計・施工から維持管理・更新に至るまでの全期間に要する費用

4 ダムの維持管理

洪水調節や地域の発展に重要な水資源の確保を併せ持つダムとして、国土交通省 が殿ダム及び菅沢ダムの2ダム、県が百谷ダム、佐治川ダム、東郷ダム、賀祥ダム 及び朝鍋ダムの計5ダムを維持管理しています。

また、朝鍋ダムでは、平成28年3月から維持放流水を利用した小水力発電を行っ ています。

鳥取県内のダム位置図



5 水防情報の提供

河川改修等には多額の費用を要し、整備が完了するまでには長期間を要します。 また、想定以上の雨が降る可能性もあります。このため、洪水被害を最小限にとど めるためには、施設整備のみに頼るのでは無く、治水上重要な箇所の雨量・水位等 の防災情報、監視カメラによる映像を市町村や住民へ提供し、住民の早期避難や迅 速な水防活動体制を確保することが重要です。

このため、本県では以下の施策を進めています。

・「重要水防箇所」を市町村へ通知、インターネットで公表

(http://www.pref.tottori.lg.jp/dd.aspx?menuid=73145)

※重要水防箇所とは、洪水時に水防活動の必要性の高い区域を重要度に応じてランク分けした区域

- ・「浸水想定区域図」の作成 (https://www.pref.tottori.lg.jp/277257.htm)
 - ※「水位周知河川」、「洪水予報河川」(全 20 河川)では浸水の恐れのあるエリアを示した図面(浸水想定区域図)を作成し、公表しています。
- 「鳥取方式」洪水浸水リスク図の作成 (https://www.pref.tottori.lg.jp/277256.htm) ※既存の一般的な水位計に加え平成30年度より洪水時のみの水位観測に特化した低コストでコンパクトな水位計(危機管理型水位計)による河川水位情報の提供を行っています。 (https://k.river.go.jp/)
- ・ 雨量・水位・積雪・土砂災害警戒情報をネット配信 (http://tottori.bosai.info/) ※水位周知河川、洪水予報河川以外の県管理河川について浸水の恐れのあるエリアを示した図面(洪水浸水リスク図)を作成し、公表しています。
- ・ 監視カメラによる河川状況のインターネット配信

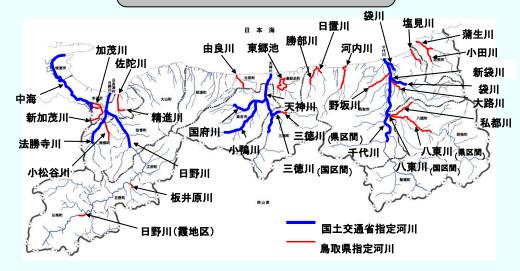
(http://tottori-kasen.info/)

(令和3年3月末時点)



- 5段階の「警戒レベル」と河川情報について (https://www.pref.tottori.lg.jp/285766.htm)
 ※令和元年度から防災情報を5段階に分け、分かりやすく発出しています。
- 国交省、県、市町村、水防団、警察、自衛隊等合同の水防訓練の実施
- ・ 親水公園内警報発令システム
 - ※県管理河川のうち、急激な水位上昇の危険性のある親水公園24箇所について注意喚起看板を設置。 このうち短時間で水位上昇が著しい又は、利用者数が多い親水公園等9箇所については、回転灯及び サイレン等による現地警報発令装置を設置しています。

水防警報河川位置図



「水防警報河川」の指定(20河川)※県管理河川

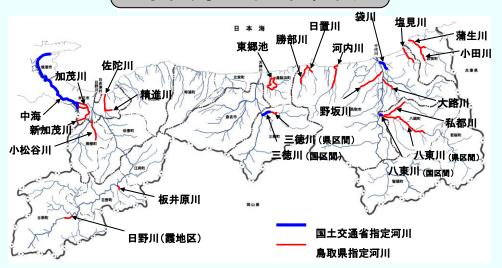
※水防警報河川とは、洪水のおそれのあるとき、水防活動を行う必要があることを通知する河川



「洪水予報河川」の指定(由良川)※県管理河川

※洪水予報河川とは、河川の水位と降雨予測により、市町村長が避難勧告を発令する際の目安となる今後の水位の予測を通知する河川

水位周知河川位置図



「水位周知河川(水位情報周知河川)」の指定(19河川)※県管理河川

※水位周知河川(水位情報周知河川)とは、洪水のおそれのあるとき、市町村長が避難勧告を発 令する際の目安となる水位に達したことを通知する河川

🕝 湖沼における環境整備と治水対策

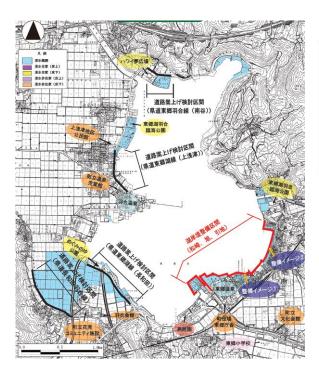
■湖山池(鳥取市)における取り組み

湖山池では、汽水湖としての再生を目指しており、平成25年5月に策定した「第3期湖山池水質管理計画」に基づき、湖内の水質改善のための底泥浚渫、覆砂及び浅場造成等の浄化対策を実施しています。また、現況の湖岸堤高が不足し、かつ背後に家屋が連担する区間については浅場造成に併せて湖岸堤(T.P.+1.7m)を整備しています。

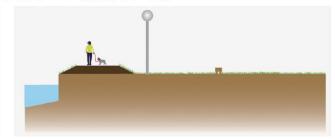


■東郷池(湯梨浜町)における取り組み

東郷池では、これまで度重なる浸水被害が発生しており、平成23年9月の台風12号洪水に対応した湖岸堤(T.P.+1.5m)を整備し、併せて道路の嵩上げを行って避難路を確保しています。湖岸堤の計画策定にあたっては住民等の意見を聞きながら、景観・自然環境の保全に配慮しています。



【整備イメージ①東郷湖畔公園】



【整備イメージ②四つ手網付近】

